

～隊員時代の活動と今現在の仕事～

私は2005年7月に家政隊員としてチマルテナンゴ県に派遣されました。地元の NGO に配属され、地区別複数の婦人グループに日々、調理や手芸の巡回講習をしました。2005年にはハリケーン・スタンの災害があり、支援物資仕分けのお手伝いもしました。2006年には治安事情でウエウエテナンゴ県の NGO の PCI (Project Concern International) に配属変更があり、Casa Materna (母性の家 - 遠方の妊産婦用宿泊施設) で妊産婦と寝食を共にしながら、利用者のケアはじめ施設の諸活動をサポートしました。任務終了後は、2009年に短期ボランティア(栄養士)としてケツアルテナンゴ県カホラ市保健所に配属されました。「子どもの健康プロジェクト」と連携して、5つの基礎ケアと離乳食を中心とした栄養教育の啓発活動に参画させていただきました。カホラ市でも地域の婦人グループごとの調理講習会があり、カウンターパート(農村保健技官)の尽力によって開催できた料理コンクールは、地域婦人エンパワーメントの集大成になったと思います。

現在、私は私立自由学園(東京都)の家庭科教諭として調理実習や菜園指導をする一方、2016年よりキチェ県妊産婦と子どもの健康・栄養改善プロジェクトの団員としてキチェ・イシルに通っています。特に対象14保健管区の保健医療従事者が、地域の妊産婦と2歳未満児の栄養状態に寄り添い、心の通ったサポートができるような栄養教材や助言技術の支援をしています。プロジェクトで開発された「私の栄養カレンダー」は日本の母子手帳の栄養部分のキーポイントに、グアテマラの保健栄養衛生のニーズを地元の文化伝統への敬意をこめた絵図に表現したものといえるでしょうか。家庭の壁にかけて家族みんなが母子の健康を守るきっかけになることを願っています。本プロジェクトが終了する2020年まで残り僅かですが、グアテマラの大地と歴史、生命力からいただく学びに感謝しつつ、第2の故郷への恩返しの気持ちをもって取り組んで参りたいと思っています。



